

高知くらしの護身術

99

おれおれ詐欺

だましの手口が進化

(2008年7月22日掲載原稿)

最近、架空請求のハガキや「オレオレ詐欺」などで高額な被害が出ています。突然、孫や子供の名前をかたり「携帯電話の番号を変更した」と連絡があった。翌日、その電話で「女性に怪我をさせたのでお金がいる。送金して欲しい」と言われて、あわてて送金してしまった。どうしたらいいのか。という相談が寄せられています。

オレオレ詐欺等の振り込め詐欺は、騙しの手口を知られると次々と新しい別の手口を考え出しています。今回の手口は、事前に携帯電話の番号が変わったと連絡してアドレス帳を変更させて、後日、振込みを求める電話をかけてくるものです。携帯電話のディスプレイに子や孫の名前が表示されるので信用してしまいます。お金を振り込んだ後で子や孫の固定電話に電話をして騙されたことがわかってしまったと思っても、既にお金は引き出されており取りもどすことは困難です。

詐欺師たちは、驚かせて考える余裕のない状態にしてお金を振り込ませるのが特徴です。

被害を防ぐには、先ず、本人や家族、関係者等に連絡をとって事実確認をして下さい。子や孫の固定電話や変更前の携帯電話に電話をかけると本当かどうか確認できます。事実を確認するまでは絶対振り込まないで下さい。

そして、大金を振り込む前に、消費生活センター等に相談して下さい。相談することで被害にあわずに済んだ方もおいでます。もし、振り込んでしまったらすぐに金融機関と警察に連絡しましょう。